

ウラジオストク滞在に関する報告について（12月分）

1. ロシア語学校について

極東連邦大学では12月31日まで授業があります。しかし、先生の予定や学生の要望で31日を休みにし、他の日に振り替えて授業をするグループがほとんどです。私のグループも29日の土曜日が今年最後の授業でした。

新年に向けて帰省する学生が非常に多いです。また、冬休みを利用してモスクワやイルクーツク等へロシア旅行に行く学生も多く、12月後半は授業に出席する学生が大変少ないです。

2. ウラジオストク市内の状況について

・治安状況

当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

12月から新年にかけて、外に出歩く人が増え、犯罪やトラブルが多くなるようです。この時期になると外が寒いので強いお酒を飲む人が多く、お酒のトラブルも増加するので気を付けなければなりません。

・気 候

現地では今年の冬は暖冬だと言われていますが、日本と比べるととても寒いです。最高気温が基本的には氷点下で、朝方や夜は-17度まで下がることもありました。12月にもなると例年であれば海が全て凍り、釣りなどができるそうですが、今年は12月後半から海岸沿いが凍り始めている程度で、例年より暖冬気味というのは本当のようです。

3. ウラジオストクでの行事について

●日本人会忘年会（8日）

毎年ウラジオストクの日本人会で忘年会があります。今年はボーリングを行い、その後、市内レストランへ移動しました。ウラジオストクには総領事館以外にも様々な日本の企業の方が出向されており、普段はあまりお会いする機会のない日本の方とも知り合えました。

ボーリング大会では参加者がくじで3人1組のチームを作り、1~3位のチームにはそれぞれウラジオストクにある日本料理店の割引券やTシャツが贈呈されました。レストランではビンゴ大会が行われ、参加者がそれぞれ持ち寄ったものが商品となっています。ワインやチョコレート、日用雑貨などが商品となっており、私は日本のカップラーメンセットが当たりました。



写真1：日本人会忘年会 ボーリング大会



写真2：日本人会忘年会 市内レストラン

●極東連邦大学日本語学部による今年の漢字（20日）

日本では毎年「今年の漢字」を決めますが、ウラジオストクでは極東連邦大学の日本語教師の方が中心となって、大学内の教室で自分の漢字を決めました。まず日本の「今年の漢字」についてのニュースを見て、その後に自分の一年を

振り返ります。最後に漢字を一文字決め、書道を行いました。参加していた日本語学科のロシア人学生たちはそれぞれ「学」や「変」、「友」等の漢字を選んでいました。



写真3：今年の漢字 書道の様子